

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成23年11月14日

**【四半期会計期間】** 第133期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 大日本木材防腐株式会社

**【英訳名】** Dainihon Wood-Preserving Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 鈴木 龍一郎

**【本店の所在の場所】** 名古屋市港区千鳥一丁目3番17号

**【電話番号】** 名古屋 (052) 661局 1502番

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員管理本部長 堤 時 英

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市港区千鳥一丁目3番17号

**【電話番号】** 名古屋 (052) 661局 1502番

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員管理本部長 堤 時 英

**【縦覧に供する場所】** 株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第133期 第2四半期 連結累計期間		第132期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		10,895,517		19,925,285
経常利益	(千円)		260,609		348,988
四半期(当期)純利益	(千円)		138,796		176,030
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		139,784		140,154
純資産額	(千円)		3,519,872		3,411,046
総資産額	(千円)		14,691,241		14,430,724
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)		35.59		45.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)				
自己資本比率	(%)		24.0		23.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		12,961		744,983
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		3,366		443,588
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		152,584		100,472
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		1,191,883		1,360,938

回次		第133期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)		16.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
4. 第132期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表等を作成しているため、第132期第2四半期連結累計期間及び第132期第2四半期連結会計期間について記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期比は記載していません。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの復旧や営業・生産設備等の回復が進み、個人消費意欲においても改善の兆しが見られました。しかしながら、欧州各国の金融不安による海外需要の減退懸念や、急激な円高の進行といった不安材料により、先行き不透明な状況が続きました。

木材業界におきましては、建築資材の需要に影響を与える新設住宅着工戸数は本格的な回復には至っていないものの、住宅取得にかかる諸政策により前年同期に比べ6.1%増加し、当業界に特に関係が深い持家や戸建分譲住宅も徐々に持ち直しの兆しが表れております。

このような状況のなか、当社グループは積極的な営業活動による拡販に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は108億9千5百万円、営業利益は2億5千万円、経常利益は2億6千万円、四半期純利益は1億3千8百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

木材事業では、主に木造戸建住宅の構造材を扱っております。戸建住宅市場が比較的堅調に推移したことを受け現地挽輸入木材製品の売上が伸びたことや、住宅建材製品の受注拡大に努めた結果、売上高は93億9千3百万円、セグメント利益は1億8千7百万円となりました。

物流事業では、運送事業及び荷役事業を行っております。売上高は10億7千2百万円、セグメント利益は2千5百万円となりました。

不動産事業では、賃貸用倉庫や賃貸用マンション等の賃貸業を行っております。売上高は1億1千1百万円、セグメント利益は3千6百万円となりました。

その他では、木材害虫防除関連事業を行っております。売上高は3億1千8百万円、セグメント利益は2千4百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動による資金の減少は1千2百万円、投資活動による資金の減少は3百万円、財務活動による資金の減少は1億5千2百万円となり、その結果、現金及び現金同等物の残高は11億9千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は1千2百万円となりました。これは主に仕入債務の増加額1億1千9百万円があったものの、たな卸資産の増加額4億3千5百万円、売上債権の増加額1億9千2百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は3百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入8千4百万円があったものの、定期預金の預入による支出6千1百万円、有形固定資産の取得による支出3千万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億5千2百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入3億円があったものの、長期借入金の返済による支出4億1百万円があったこと等によるものです。

(3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は11,665千円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,560,000
計	16,560,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,140,000	4,140,000	名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 あります。
計	4,140,000	4,140,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		4,140		207,000		4,299

## (6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成23年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
材惣木材株式会社	名古屋市中川区山王二丁目6番1号	816	19.73
大日コンクリート工業株式会社	名古屋市中区栄二丁目9番26号	778	18.81
有限会社鈴木興産	名古屋市中川区山王二丁目6番1号	476	11.49
王子製紙株式会社	東京都中央区銀座四丁目7番5号	300	7.24
鈴木龍一郎	名古屋市昭和区	193	4.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	164	3.96
株式会社愛知銀行	名古屋市中区栄三丁目14番12号	100	2.41
株式会社名古屋銀行	名古屋市中区錦三丁目19番17号	100	2.41
東邦瓦斯株式会社	名古屋市熱田区桜田町19番18号	100	2.41
鈴木けい	名古屋市昭和区	88	2.14
計		3,117	75.30

- (注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 大日コンクリート工業(株)が所有している株式については、会社法施行規則第67条の規定により議決権を有しておりません。
3. 「材惣木材株式会社」は、平成23年10月24日に「材惣木材株式会社」に商号変更しており、また、名古屋市中区錦一丁目1番2号に住所変更しております。
4. 「有限会社鈴木興産」は、平成23年10月24日に、名古屋市中区錦一丁目1番2号に住所変更しております。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,000 (相互保有株式) 普通株式 778,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,310,000	3,310	
単元未満株式	普通株式 40,000		
発行済株式総数	4,140,000		
総株主の議決権		3,310	

(注) 単元未満株式数には大日コンクリート工業株式会社保有の相互保有株式839株及び当社保有の自己保有株式221株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 大日本木材防腐株式会社	名古屋市港区千鳥 一丁目3番17号	12,000		12,000	0.28
(相互保有株式) 大日コンクリート工業株 式会社	名古屋市中区栄 二丁目9番26号	778,000		778,000	18.79
計		790,000		790,000	19.08

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、栄監査法人により四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,437,938	1,245,883
受取手形及び売掛金	3,931,724	4,124,308
商品及び製品	1,056,168	1,463,475
仕掛品	28,341	24,251
原材料及び貯蔵品	471,428	515,614
未成工事支出金	82,471	70,435
その他	320,488	191,097
貸倒引当金	69,600	30,200
<b>流動資産合計</b>	<b>7,258,961</b>	<b>7,604,866</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,749,747	2,664,013
土地	2,253,030	2,253,030
その他（純額）	316,623	342,620
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,319,401</b>	<b>5,259,663</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	212,160	185,476
その他	14,146	11,358
<b>無形固定資産合計</b>	<b>226,307</b>	<b>196,834</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,452,268	1,461,097
その他	290,899	236,291
貸倒引当金	117,112	67,512
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,626,055</b>	<b>1,629,876</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,171,763</b>	<b>7,086,374</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,430,724</b>	<b>14,691,241</b>

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,595,053	5,715,909
短期借入金	3,222,628	3,193,960
未払法人税等	62,585	119,383
賞与引当金	134,095	146,677
その他	225,830	244,673
流動負債合計	9,240,191	9,420,603
固定負債		
長期借入金	1,112,225	1,038,958
退職給付引当金	179,954	190,869
役員退職慰労引当金	148,120	155,912
資産除去債務	9,284	9,423
その他	329,901	355,600
固定負債合計	1,779,486	1,750,765
負債合計	11,019,678	11,171,368
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	207,000	207,000
資本剰余金	4,491	4,491
利益剰余金	3,225,615	3,333,453
自己株式	99,183	99,183
株主資本合計	3,337,923	3,445,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,082	79,223
繰延ヘッジ損益	2,959	5,112
その他の包括利益累計額合計	73,122	74,111
純資産合計	3,411,046	3,519,872
負債純資産合計	14,430,724	14,691,241

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,895,517
売上原価	9,677,886
売上総利益	1,217,631
販売費及び一般管理費	966,809
営業利益	250,821
営業外収益	
受取利息	83
受取配当金	4,587
為替差益	8,969
持分法による投資利益	7,773
雑収入	12,437
営業外収益合計	33,851
営業外費用	
支払利息	18,603
手形売却損	4,609
雑損失	850
営業外費用合計	24,063
経常利益	260,609
特別損失	
固定資産除却損	4,104
投資有価証券評価損	772
特別損失合計	4,876
税金等調整前四半期純利益	255,733
法人税等	116,937
少数株主損益調整前四半期純利益	138,796
四半期純利益	138,796

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	138,796
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	5,639
繰延ヘッジ損益	2,152
持分法適用会社に対する持分相当額	2,498
その他の包括利益合計	988
四半期包括利益	139,784
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	139,784
少数株主に係る四半期包括利益	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成23年4月1日  
 至平成23年9月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	255,733
減価償却費	138,919
のれん償却額	26,684
貸倒引当金の増減額（は減少）	89,000
賞与引当金の増減額（は減少）	12,582
退職給付引当金の増減額（は減少）	10,914
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	7,792
受取利息及び受取配当金	4,670
支払利息	18,603
持分法による投資損益（は益）	7,773
固定資産除却損	4,104
投資有価証券評価損益（は益）	772
売上債権の増減額（は増加）	192,584
たな卸資産の増減額（は増加）	435,367
仕入債務の増減額（は減少）	119,540
未収消費税等の増減額（は増加）	16,191
未払消費税等の増減額（は減少）	14,477
その他	158,277
小計	55,199
利息及び配当金の受取額	9,941
利息の支払額	18,521
法人税等の支払額	59,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	61,000
定期預金の払戻による収入	84,000
投資有価証券の取得による支出	118
有形固定資産の取得による支出	30,901
有形固定資産の売却による収入	2,208
無形固定資産の取得による支出	730
その他	3,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,366
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	401,935
リース債務の返済による支出	19,823
配当金の支払額	30,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	142
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	169,054
現金及び現金同等物の期首残高	1,360,938
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,191,883

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形割引高 806,672千円	受取手形割引高 820,675千円

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
販売費及び一般管理費の主なもの	
給料	269,880千円
発送運賃	253,923千円
賞与引当金繰入額	61,513千円
退職給付費用	17,362千円
貸倒引当金繰入額	38,130千円
役員退職慰労引当金繰入額	7,792千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	1,245,883千円
計	1,245,883千円
預入期間が3か月超の定期預金	54,000千円
現金及び現金同等物	1,191,883千円

## (株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	30,958	7.5	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	30,958	7.5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	木材事業	物流事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,393,154	1,072,899	111,326	10,577,379	318,137	10,895,517		10,895,517
セグメント間の 内部売上高 又は振替高		7,698		7,698		7,698	7,698	
計	9,393,154	1,080,598	111,326	10,585,078	318,137	10,903,215	7,698	10,895,517
セグメント利益	187,211	25,767	36,177	249,156	24,349	273,506	22,684	250,821

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材害虫防除関連事業であります。  
2. セグメント利益の調整額 22,684千円はのれん償却額であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益	35円59銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益(千円)	138,796
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益(千円)	138,796
普通株式の期中平均株式数(株)	3,899,346

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

大日本木材防腐株式会社

取締役会 御中

栄監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 澤 田 博 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 横 井 陽 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大日本木材防腐株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大日本木材防腐株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。